

科目名称	薬物療法と看護	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		20
担当教員	川崎由希	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

的確な薬物療法を行うために必要な基本的な考え方(薬理作用、有害事象、与薬時の注意事項)と共に、与薬の実践者であり患者に最も近いところで作用と副作用を観察する立場にある看護師が行う援助のあり方を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 主な薬物について、その薬理作用、有害事象について理解できる。
2. 患者個人の特性やライフスタイルに基づいた、その人にとって最適な薬物療法への援助のあり方について学ぶことができる。
3. 薬物の管理と暴露予防策について理解する。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
 - 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
 - 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
 - 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
 - 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	安全な与薬に必要な知識	講義
2	事例検討 ① 個人ワーク	個人ワーク
3	事例検討 ② 個人ワーク	個人ワーク
4	事例検討 ③ グループワーク	グループワーク
5	事例検討 ④ グループワーク	グループワーク
6	事例検討 ⑤ 睡眠薬・利尿薬・降圧薬	グループ発表
7	事例検討 ⑥ 鎮痛薬(オピオイド)・血糖降下剤・ステロイド薬	グループ発表
8	事例検討 ⑦ 人体へのリスクの大きい薬剤の暴露防止・まとめ	グループ発表
9	人体へのリスクの大きい薬剤の暴露防止・まとめ	講義
10	筆記試験	

【5】 評価方法

筆記試験 60 点 グループワーク参加度 30 点 出席点 10 点で総合的に評価する。

【6】 教科書

看護学入門2 薬理 メジカルフレンド社 2022 年

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ